

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

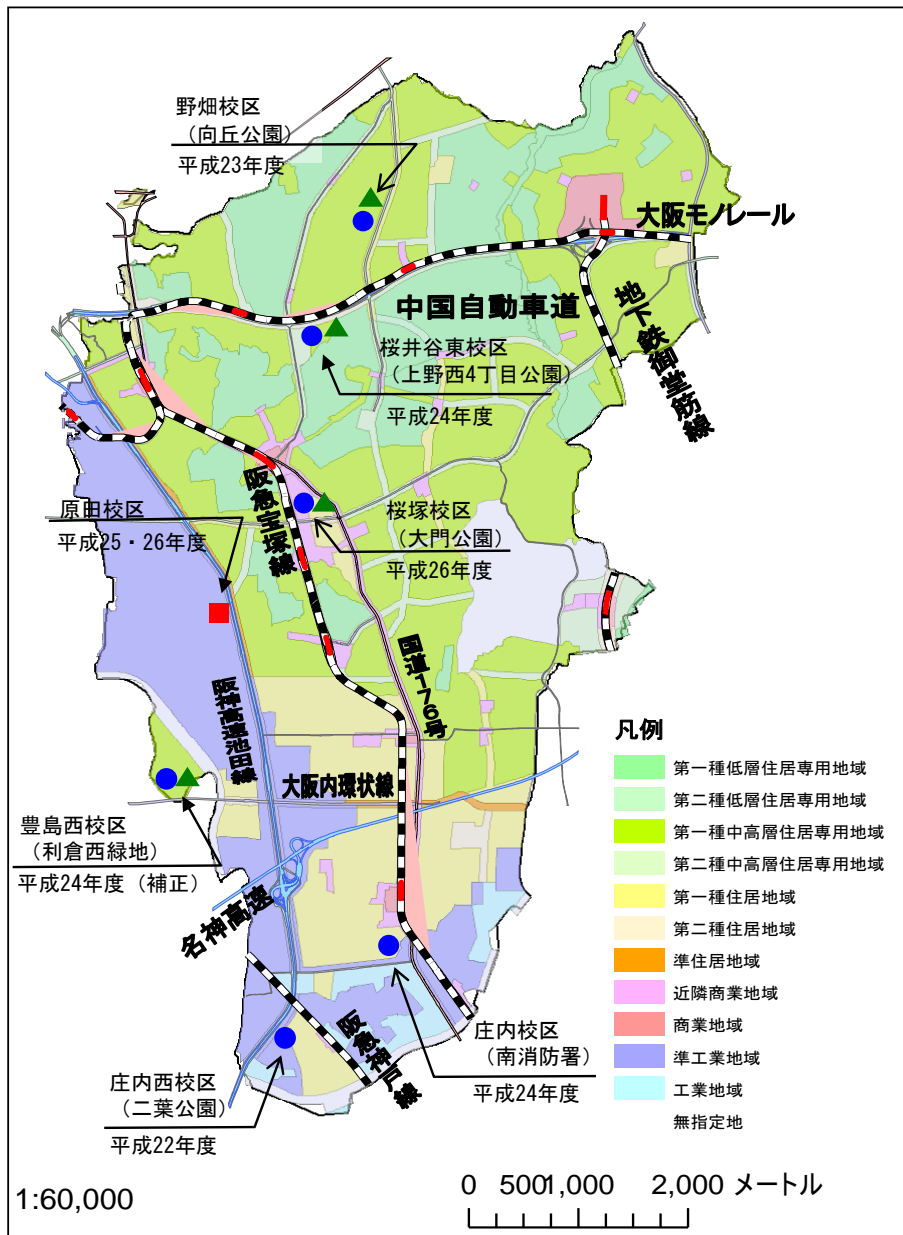
平成28年2月17日


計画の名称		1 地域防災力の強化（防災・安全）														
計画の期間		平成22年度～平成26年度（5年間）			交付対象		豊中市									
計画の目標		災害に強いまちづくりを推進するため、大規模地震発生時の消火栓に代わる代替水利として、耐震性貯水槽を未整備の区画に順次整備していき、長期的に市の防災基盤を高める。 また、大規模災害が発生した場合、自主防災組織をはじめ地域住民による救助・救出活動が実施できるよう、地域防災拠点を整備し、防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図り、災害に強い安心・安全な地域づくりを推進する。														
計画の成果目標（定量的指標）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市域を250mメッシュで区画し、そのなかで防火水槽等（プール、防火水槽、耐震性貯水槽等）が未設置のメッシュについて、公共的な空地（広場、公園、学校の運動場等）が確保された所に耐震性貯水槽を整備し、防火水槽等充足率を81%から83%に増加させる。</li> <li>・年度間における自主防災組織訓練実施率を60%から65%（市内部目標値）に増加させる。</li> </ul>														
定量的指標の定義及び算定式					定量的指標の現況値及び目標値			備考								
					当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)									
①（防火水槽等充足率）＝（防火水槽等設置済みメッシュ数＋設置不要メッシュ数：43）／（市域総メッシュ数：619）×100					81%	82%	83%									
②（自主防災組織の訓練実施率）＝（1年間に訓練を実施した自主防災組織数）／（市内の自主防災組織数：155）×100					60%	62.5%	65%									
全体事業費		合計 (A+B+C)	145.3百万円	A	137.3百万円	B		C	8百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	5.5%					
事後評価（中間評価）																
○事後評価の実施体制、実施時期																
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期											
豊中市消防局内において実施した。					事業終了後（平成27年度）											
					公表の方法											
					豊中市消防局ホームページにて公表											
1. 交付対象事業の進捗状況																
交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
1-A-1	防災	一般	豊中市	直接	豊中市	都市防災総合推進事業 (庄内西校区地区他5地区)	耐震性貯水槽整備（6箇所）	豊中市							104.3	
1-A-2	防災	一般	豊中市	直接	豊中市	都市防災総合推進事業 (原田校区地区)	防災まちづくり拠点施設の整備	豊中市							33	
小計													137.3			
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
1-C-1	施設整備	一般	豊中市	直接	豊中市	防災資機材庫整備	小型動力ポンプ、資機材格納庫整備	豊中市							8	
合計													8			
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
1-C-1	1-A-1と一体的に実施し、自主防災組織が活用する小型動力ポンプ等を整備することにより、地域の自助・共助による災害対応能力の向上を図り、災害に強い地域づくりを促進する。															


<b>2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況</b>						
<b>I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防火水槽等（プール、防火水槽、耐震性貯水槽等）が未設置のメッシュに耐震性貯水槽を整備することにより、防火水槽等充足率が高まった。</li> <li>・耐震性貯水槽と併せて小型動力ポンプ及び資機材格納庫を整備することにより、地域住民の防災意識の高揚が図られ、自主防災組織の訓練実施率が高まった。</li> </ul>				
<b>II 定量的指標の達成状況</b>	指標①（防火水槽等充足率）	最終目標値	83%	目標値と実績値に差が出た要因	開発行為等に伴う消防水利の整備指導により、防火水槽等（プール、防火水槽、耐震性貯水槽等）が未設置のメッシュに耐震性貯水槽が設置されたため。	
		最終実績値	84.3%			
	指標②（自主防災組織の訓練実施率）	最終目標値	65%	目標値と実績値に差が出た要因		地域住民の防災意識の高揚が図られたため。 また、市単独事業においても、自主防災組織に対し訓練実施の啓発活動を行ったため。
		最終実績値	66.2%			
<b>III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災まちづくり拠点施設を整備することにより、地域住民の防災意識の高揚及び地域防災力の向上が図られた。</li> </ul>				
<b>3. 特記事項（今後の方針等）</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、防火水槽が未設置のメッシュや代替水利（プール、河川等）で充足しているメッシュに耐震性貯水槽を整備し、市の防災基盤を高める。</li> <li>また、基幹事業と効果促進事業を一体的に行うことにより、防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図り、災害に強い安心・安全な地域づくりを推進する。</li> </ul>						

(参考様式3) 市街地整備 事後評価

計画の名称	1 地域防災力の強化 (防災・安全)	交付対象	豊中市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		



A-1 都市防災推進事業  
(耐震性貯水槽整備 6箇所) 

A-2 都市防災推進事業  
(防災まちづくり拠点施設整備 1箇所) 

C-1 防災資機材庫整備 4箇所 